

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公表番号】特表2002-507354(P2002-507354A)

【公表日】平成14年3月5日(2002.3.5)

【出願番号】特願平11-505548

【国際特許分類第7版】

H 04 N 7/32

H 04 N 1/41

【F I】

H 04 N 7/137 Z

H 04 N 1/41 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月20日(2005.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成 年 月 日
17.5.20

特許庁長官殿

1. 事件の表示 平成11年特許願第505548号

2. 補正をする者

名 称 インテル・コーポレーション

3. 代理人

識別番号 ~~100064621~~

郵便番号 100-0014

住 所 東京都千代田区永田町2丁目4番2号
秀和溜池ビル8階
山川国際特許事務所内

電話 03(3580)0961(代表)

氏 名 6462 山川 政樹 

4. 補正対象書類名

(1) 請求の範囲

(2) 明細書

5. 補正対象項目名

(1) 請求の範囲

(2) 明細書



6. 補正の内容

- (1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。
- (2) 明細書3ページ22-23行の「一とステップ」を「1ステップ」に訂正する。
- (3) 明細書4ページ5-6行の「編集されると、」を「編集され、」に訂正する。
- (3) 明細書7ページの表を以下の通りに訂正する。

バイト1	バイト2	バイト3	バイト4
11101110	11000101	01001110	00111011

請求の範囲

1. 視覚的に無損失の画像圧縮方式をモデル化する画像圧縮テーブルを生成するステップであって、前記画像圧縮方式が、二つのピクセルの間の誤差値と量子化誤差値とに、人間の視覚認識系統によって特徴づけられている多項式的に関連しているステップと、

復元時には視覚的に無損失であるように見えるように、画像を圧縮するために、前記画像圧縮テーブルを利用するステップと、
を含むことを特徴とする方法。

2. 視覚的に無損失の画像圧縮をモデル化する量子化誤差値と等価コードワードを、所与の画像圧縮方式向けに編集して、ルックアップ・テーブルを作るステップであって、前記画像圧縮の結果が、二つのピクセルの間の誤差値と量子化誤差値とに、人間の視覚認識系統によって特徴づけられている多項式的に関連しているステップと、

後で、所与の画像圧縮方式向けに、前記値を再び編集することなく、画像圧縮用の前記ルックアップ・テーブルを利用するステップと、
を含むことを特徴とする方法。

3. 画像取込みデバイスからの入力を受け取る画像圧縮モジュールと、

前記画像圧縮モジュールに結合された画像圧縮テーブルであって、人間の視覚系統をモデル化したものであり、画像を圧縮するために利用される量子化誤差値と、その等価コードワードを提供する画像圧縮テーブルであって、画像圧縮方式が、二つのピクセルの間の誤差値と量子化誤差値とに、人間の視覚認識系統によって特徴づけられている多項式的に関連している画像圧縮テーブルと、
を備えることを特徴とする画像取込みデバイスを有する画像生成システム。